

平成 27 年 6 月 5 日

各 位

会 社 名 H a m e e 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 樋 口 敦 士
(コード番号：3134 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 コーポレート統括本部本部長 水 島 育 大
(TEL. 0465-22-8043)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 4 月 20 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 27 年 4 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	5,142	353	346	214	137.58
今 回 修 正 予 想 (B)	5,657	336	329	192	123.90
増 減 額 (B - A)	514	△17	△16	△21	
増 減 率 (%)	10.0	△4.8	△4.9	△9.9	
(ご参考) 前 期 連 結 実 績 (平成 26 年 4 月 期)	4,681	226	222	121	78.88

2. 修正の理由

売上高につきましては、過去実績及び主要取引先からの引き合い情報をもとに、保守的に売上高を前年並みと見積もっていた、家電量販店及び雑貨量販店向けの卸販売について、年末以降「セルフイースティック」等の自社企画商品の需要が増加いたしました。例年は需要閑散期となる 2 月以降も卸販売の受注が堅調に推移したことから、前年同期比 9.9%増の 5,142 百万円を見込んでいた売上高について、当初予想を 514 百万円 (当初予想比 10.0%増) 上回る見込みとなりました。

営業利益及び経常利益並びに当期純利益につきましては、海外展開強化の一環として、海外 EC サイトを昨年 11 月に米国子会社に譲渡いたしました。収益化に時間を要するため、結果として海外子会社への人件費投資が先行し、これが利益の圧縮要因となりました。また、長期滞在在庫についてたな卸資産健全化の一環として、本年 1 月に廃棄損 (原価性の費用) 24 百万円を計上したことによって売上原価が増加したため、営業利益は 17 百万円 (同 4.8%減)、経常利益は 16 百万円 (同 4.9%減)、当期純利益は 21 百万円 (同 9.9%減)、当初予想を下回る見込みとなりました。

(注) 上記業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上